

日本物理学会賞若手奨励賞領域2授賞規定

2006年9月24日領域2運営会議にて承認

2013年9月26日領域2運営会議にて承認

1. 授賞の対象

1 篇または複数編の論文で公表された研究業績。ただし、その研究内容(またはその一部)が、日本物理学会において当該領域で登壇者として口頭またはポスターで発表されていること。

2. 応募資格

応募の時点で日本物理学会会員であること。

受賞年度の4月1日現在において39歳以下であること。ただし、出産、育児休暇により研究を中断するなどの事情がある場合は、年齢制限を緩和することができる。

3. 審査の基準

公表された論文(掲載決定済みを含む)の評価を基本とする。物理学会における発表、他の学会、国際会議での発表内容などを総合的に判断し、優れた研究を行ったこと、研究者としての将来性が評価できることを確認する。また、当該業績について候補者が主要な役割を果たしていることを条件とする。

4. 応募と審査の方法

応募は自薦および推薦による。審査委員会は、候補者について必要な資料の提出を求め、審査する。提出書類は、履歴書、発表論文リスト、対象論文のコピー、学会発表の概要のコピー、推薦書(または自薦書)、その他必要と思われる書類。

なお、推薦者は同一の候補者を同じ年度に複数の領域に推薦すること、同一の領域に複数名の候補者を推薦することは出来ない。自薦の場合は同じ年度に複数の領域に応募することはできない。

5. 審査委員

審査委員会は、領域毎で選出され、学会の承認を受けた委員で構成する。分野のバランス等に配慮した委員構成とする。

日本物理学会賞若手奨励賞規定領域2細則

2006年9月24日領域2運営会議にて承認

2010年9月24日領域2運営会議にて修正承認

2013年9月26日領域2運営会議にて承認

1. 審査委員会の設置

領域2においては、日本物理学会若手奨励賞候補者の選考を行うため、領域2若手奨励賞審査委員会(以下「審査委員会」)を設置する。

2. 審査委員会の組織

審査委員会は委員長、副委員長各1名と、原則として4名の審査委員(計6名)から構成される。委員長、副委員長は領域代表により指名され、4名の審査委員は委員長および副委員長が領域代表および副代表と協議の上決定する。審査委員の任期は一年とし、次年度の再任は原則としてないものとする。審査委員は受賞決定後公表される。

3. 会議の運営

審査委員会委員長は委員会を招集し、その議長となる。

4. 公募方法

本表彰の公募は、毎年度1回、締め切りの1ヶ月以上前に学会誌や学会ホームページに公募文を掲載する。同時にメーリングリストなどを用いて領域2関係者に自薦・推薦を呼びかける。

5. 応募方法

応募は自薦または推薦による。提出書類は以下の通り。

(1) 自薦の場合: 履歴書、発表論文リスト、対象論文のコピー(3篇以内)、該当する日本物理学会における学会発表の講演概要と講演資料のコピー、および所定の用紙に記載した自薦書。

(2) 推薦の場合: 原則として日本物理学会員である推薦者2名の連名により受賞者候補の推薦を行い、履歴書、発表論文リスト、対象論文のコピー(3篇以内)、該当する日本物理学会における学会発表の講演概要と講演資料のコピー、および所定の用紙に記載した推薦書。

以上の書類を電子媒体(1つのPDFファイルにまとめるのが望ましい)にて、領域代表および領域副代表に送付する(締切日必着)。尚、自薦書あるいは推薦書の審査希望領域名を「領域2」と明記すること。また、該当する学会の発表は筆頭者かつ登壇者でなければならない。

尚、当該年度の領域代表、副代表、審査委員は推薦者にはなれない。

6. 審査手順

応募者の中から、領域を問わず過去に若手奨励賞の受賞者でないことを確認した後、応募要件を満たす候補者に対して、審査委員会において提出書類の審査を行う。

(1) 審査委員会は、自薦または推薦された候補者の対象論文について、論文を中心に、物理学会や他の学会、国際会議などでの発表内容を総合的に審議し、受賞者候補について順位

をつける。審査委員会は、候補者選定作業において査読者を委嘱し、参考意見を聴取することができる。尚、候補者と近い関係(共著者、協力者、師弟関係、同じ部門、親戚関係など)にある審査委員は当該候補の審査に加わることはできない(委員の自己申告制とする)。

(2) 審査委員会は、審議経過を踏まえ、受賞者候補者の順位および当該年度に予定された受賞者数などを勘案し、受賞者候補を選考するとともに、推薦理由を付して最終候補者を理事会に推薦する。

7. その他

本細則規定は、審査委員会の議を経た後、領域代表の承認を得て変更することができる。但し、変更内容に関しては理事会の承認を求めるとともに運営会議で報告することとする。

自薦書および推薦書の様式

文書作成年月日：

候補者氏名：物理学会会員番号：

候補者所属(勤務先,身分および所在地)：

候補者連絡先(電話,FAX, 電子メール)：

推薦・自薦の選択：推薦、自薦(どちらか一方にO)

推薦の場合

推薦者1

推薦者氏名：物理学会会員番号：

推薦者所属(勤務先,身分および所在地)：

推薦者連絡先(電話,FAX, 電子メール)：

候補者との関係：

推薦者2

推薦者氏名：物理学会会員番号：

推薦者所属(勤務先,身分および所在地)：

推薦者連絡先(電話,FAX, 電子メール)：

候補者との関係：

研究題目(和文および英文):

審査希望領域名：領域2

推薦(または自薦)理由：(2000字以内の和文または英文。記述にあたっては、研究の意義と独創性、本人の寄与、他分野へのインパクト・波及効果などを留意すること)